

福岡市立こども病院研究基金記念講演会

(旧：小児医療研究基金記念講演会)

昭和52年5月、福岡市にこども病院建設本部が発足した後、新病院の意義を理解してもらうため、昭和52年8月より3年間にわたり、キャンペーンを実施していただいた結果、多くの市民の方々の理解と協力により多額の募金をいただきました。

福岡市ではこの寄贈を受け、昭和56年3月に「福岡市小児医療研究基金」を制定し、医学研究活動に使用し、小児医療の発展、充実に役立てています。平成22年4月1日からは「福岡市立こども病院研究基金」に引き継がれました。

この研究活動の報告の場として、また、健やかなこどもを育てるためのより情報提供の機会となるよう、毎年、講演会を開催しています。



～平成22年10月9日 西鉄ホールにて開催～

福岡市立こども病院・感染症センター開設 30 周年記念講演会

基調講演「小児医療の現状と課題～宮城県立こども病院の経験から～」

宮城県立こども病院院長 林 富 氏

講演「福岡市立こども病院にのぞむ」

福岡地区小児科医会会長 進藤 静生 氏

講演「福岡都市圏における周産期医療の現状と今後の展望」

九州大学病院総合周産期母子医療センター長 和氣 徳夫 氏

(九州大学大学院医学研究院生殖病態生理学教授)

講演「小児看護の動向～チーム医療の観点から看護師の役割拡大を考える～」

福岡大学医学部看護学科教授 尾首 睦美 氏

ボランティア

当院ではボランティアの方々のご協力を頂いて、

受療者(患者さん)の視点からきめ細やかなサービスの提供を目指しています。

さまざまな活動を通して、今日の医療現場や子どもたちの現状を知っていただき、理解を深めていただきたいと思います。

趣 旨

当院では、ボランティアの方々のご協力を頂いて、受療者の視点からのきめ細やかなサービスを提供致したいと考えております。

さまざまな活動を通して、今日の医療現場や子どもたちの現状をお知りいただき、理解を深めていただけますと幸いです。

活動内容

外来における受療者の案内や介助
プレイコーナーでの子どもの遊び相手
おもちゃや図書の整理
院内花壇の整備 等

ボランティア活動をご遠慮いただく場合

- ※感染性疾患や、風邪・発熱・下痢などで体調が万全でない場合
- ※受療者ご家族やスタッフの信頼を損ねるような事態を繰り返される場合
- ※その他当院での活動が不相当と判断される場合

お問い合わせは

TEL.713-3111 担当 高倉・浦